

# 「であい」「つながり」そして「支えあい」

## 町会・自治会加入の手引き



福生市町会長協議会活性化部会

平成 22 年 2 月



## はじめに

### 町会・自治会とは

町会・自治会は、一定の区域にお住まいの方で結成された自主的な組織で、地域のお住まいの方なら誰でも加入できる団体です。

町会・自治会活動を通じて、親睦を図りながら、地域の絆を育み、より住みよいまちづくりを目指しています。

最近では、少子高齢化、地域連帯感の希薄化などにより、地域の結束力も弱まっています。しかし、地域の様々な課題は、地域の方が協力し合わないと解決できないものばかりです。そのために、地域活動を行っている町会・自治会への加入促進が重要となります。

**町会・自治会では、お互いに「支えあい」ながら、まちに「にぎわい」や「うるおい」をもたらす、次のような活動を行っています。**

#### ※地域住民の親睦活動

祭礼、運動会、餅つき大会、敬老事業などを通し、地域住民同士の交流や親睦を深め、連帯意識を高めて、日常生活を豊かで円滑なものにします。

#### ※地域の安全・安心活動

交通安全、防犯、防災活動の他、高齢者や子どもの見守り活動を行い、地域で安心して生活できる環境づくりを目指しています。

#### ※地域の美化活動

花いっぱい運動や資源回収、町内清掃等、地域が美しく暮らしやすいまちを目指しています。

#### ※市に対しての要望等の調整と情報提供

地域の意見や問題点を調整して、市などに要望しています。また、回覧などにより、新聞や市の広報以外の情報を伝えています。

## 一般的な町会・自治会のメリットとは、

- \* 地域での交流が深まり顔見知りが増え、防犯面の安全向上につながるほか、災害などの緊急時にも地域がまとまって行動することができます。
- \* 身の回りの苦情・要望を地域全体の声として、行政に働きかけます。
- \* 災害時の情報伝達が容易になるなど、住みよい地域になって行きます。
- \* 定期的に回ってくる回覧板が見守り活動になります。

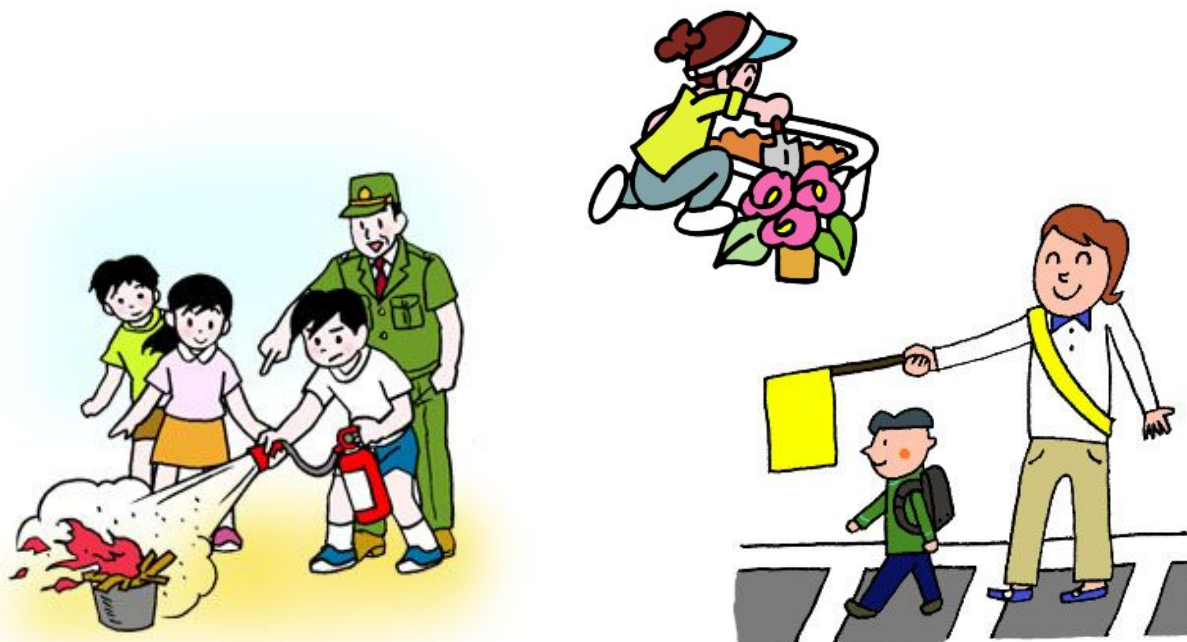
## 特に災害時

- \* 『いざ』という時に、行政の対策だけで充分なのでしょうか？

⇒とても心配です！

だから、町会・自治会は、どうしても必要なのです。

阪神・淡路大震災において、町会・自治会を中心とした日常の「ご近所づきあい」が救援活動に大きく役立ったという事実があります。



# 出合い

地域の  
安全・安心

高齢者・子どもの  
見守り

情報

相談

環境

やりがい

より住みよいまちへ

# 出会い

## 新しい体験、発見との出会い

- ・ 鱒つかみ大会や餅つき大会などの行事を通して、子どもたちに普段家庭ではできないことを楽しみながら経験させることができる。

例えば…

- ・ 鱒つかみ大会（魚を捌く）
- ・ 芋煮会
- ・ もちつき大会
- ・ うどん、そば打ち など…
- ・ どんど焼き

- ・ 行事に参加して、子どもも大人も一緒になって楽しむことができる。
- ・ 防災訓練で、AED 訓練や、起震車などの体験ができる。

→ **家庭ではできない体験、発見**

## 新しい人たちとの出会い

- ・ 行事に参加することで、知り合いが増え、知り合った仲間と家族ぐるみの付き合いができる。
- ・ 町会に加入することで、新しい顔見知りが増え、明るく自然な挨拶の輪が広がる。
- ・ 町会の趣味のサークルを通じて、友だちができる。
- ・ 町内の人々との人間関係が厚くなり、地域への愛着が増してくる。

→ **地域の「和」が広がる**

## 伝統文化の継承

- ・ 大人たちが一生懸命取り組む姿を見て、子どもたちが後を継いでいく。
- ・ 夏祭り、お囃子などの伝統文化を子どもたちに伝え、引き継いでいく。

→ **さまざまな世代間での交流**

⇒地域の安全・安心や高齢者・子どもの見守りへつながっていく

## 会員の声

### 《新しい体験、発見との出合い》

・町会の事業に初めて参加し、子どもたちの多さに驚かされました。この行事を楽しみに待っていた多くの方々に出合い、私も昔町内で行われるいろいろな行事で知らなかった近所の人たちと出合い、大人も子供も一緒になって楽しんだことを思い出しました。

・町会員になることで、多くの人たちとの交流が生まれ、さまざまな事柄に出会い、その体験がいつかは自身に戻ってくる、そのことによって自分自身を見つめ直すきっかけとなったり、更なる進歩へとつながっていくことが大きなメリットと考えている。

・異業種の人々と交流することで物事の進め方にいろいろな手法がある事がわかった。

### 《新しい人たちとの出合い》

・町会主催の行事に参加し、知り合いも増え次回からの参加が楽しみで、知り合った仲間で家族ぐるみの付き合いができるようになった。

・行事に参加すると、新しい顔見知りがあり、挨拶が広がる。外に勤めていると和が広がらない。

・町内会での交流により知り合いが多くなり、明るく自然な挨拶ができるようになった。また、子どもたちが町内の人に挨拶するようになった。

・仕事のリタイア後のことを考えると、町会は仲間を増やす良いチャンスとなる。

・他地区から引っ越してきて、知り合いも誰もいないで心細い時、老人会のカラオケサークルを知り、参加して、友人がたくさんできました。

・町会を通じて地域の方々との交流ができ、知り合いが増えたことにより、地域に愛着が増しました。

### 《伝統文化の継承》

・夏の祭礼では、お囃子等に以前よりも子供の参加が多くなり、また、神輿では若い世代の担ぎ手も増え、親睦と交流の輪が確実に広がっていると同時に、大いに歓迎された。

・行事等を通じ、高齢者との交流も増し、人と人とのつながりの中で絆ができ、それが非常時あるいは生きがい等に役立つと思う。

・町会の諸事業に参加していただくことにより、新旧住民、異世代間の交流の促進を図ることができる。



# 安全安心

## 行事に参加することにより、新しい知識が身に付く

- ・ 防災訓練…消火器の使い方、救急救命の方法などを知ることができる。
- ・ 防犯パトロール…地域の細い道や危険な道や場所など新しい発見がある。
  - 一人ではできない訓練、発見

## 日常生活が安全・安心なものになるように

- ・ 地域の安全を守るため、防犯パトロールや交通安全活動を行っている。
- ・ 隣近所での声のかけ合いや挨拶、何気ない立ち話などの小さな行為によって、顔見知りが増え、防犯につながる。
  - 気軽に声のかけあえる「温かみのあるまち」へ
  - 防犯には「声掛けが一番！」
- ・ 道路工事期間中、地域住民のスムーズな出入りを可能とするため、ガードマンの設置や「通行証」の配布など日常生活に負担がかからぬよう、行政に要望。
  - 行政（市、警察署、消防署等）との連携

## 「いざ」というときの助け合い

- ・ 地域が顔見知りになることにより、安否確認が迅速にできる。
- ・ 「いざ」というときに地域がまとまって行動することができる。
- ・ 防災訓練、防災研修による日頃の備えが地域を守る。
  - 互いに力を合わせ、支え合う気持ち（災害時の互いの助け合い）



## 会員の声

### 《行事に参加することにより、新しい知識が身に付く》

- ・防災訓練に初めて参加させていただきましたが、全く知識がなかった私にとって、とても勉強になりました。お恥ずかしい話ですが、消火器を初めて持ちました。
- ・防犯パトロールに参加して、町内の細い道や危ないところなど新しい刺激がある。
- ・防災訓練など普段なかなかできないが、今回参加させてもらい、良い経験ができよかったです。

### 《日常生活が安全・安心なものになるように》

- ・町会の行事に参加することにより、今までよく知らなかった人たちが親しみを持つようになり、町なかでお互いに挨拶を、また立ち話をする機会が増えると思われる。このような小さな行為が相互理解を深め、また防犯にもつながるのではないかと。
- ・隣組のご家族（老若男女問わず）との親交が深まり、挨拶はもちろんのこと、言葉のかけ合いや見守りなど安全・安心に生活でき、楽しい毎日が過ごせます。
- ・道路の工事説明会において、地域住民が普段利用する生活道路への通過車輛進入防止目的で、ガードマンの配置、迂回・進入防止の看板案内とその設置、また地域住民の所有車輛のスムーズな出入りができるよう、工事期間中の「通行証」の配布等を行政に要望し、少しでも日常生活に負担がかからぬように町会として努力しています。

### 《「いざ」というときの助け合い》

- ・災害が起きたとき、地域を守れるかどうかは、日頃の備えと隣近所の助け合いにかかっています。大規模な災害が発生すると、防災関係者の活動が制限され、被災地の町会、地域住民自らが助け合わなければならないとされています。その時に備えて、安全で安心して住める災害に強いまちづくりを推進しつつ、町会加入者促進、町会活動参加者の増進につなげていく必要があると思います。
- ・町会活動を通して、特に高齢者世帯の状況を把握することにより、緊急時の際に安否の確認が迅速にできる。
- ・地域で生活していく上で災害などの「いざ」というときに地域住民がまとまって行動することの重要性が認識できる。

# 見守り

## 地域全体で高齢者や子どもを見守る

- ・ 町会内の一人住まいの高齢者に対し、役員が交代で声掛けを行っており、喜ばれている。
- ・ 子どもの顔を地域の人に覚えてもらえ、どこそで見かけたよ、と教えてもらえる。
- ・ 町会内に住む高齢者の様子を気に掛けてくれる町会員がいる。
- ・ 町会活動を通して、隣人を思いやる気持ちが育ち、地域を支えていく。
  - **温かい思いやり、隣人を思いやる気持ち**
  - **老人会、子ども会、PTA、民生・児童委員との連携**

## 町会活動が地域を守る

- ・ 町会活動を通して、子どもたちを見守り、地域の中で育てるという「地域の教育力」が向上する。
- ・ 町会の行事で、地域の人や子どもと顔見知りになり、普段から声をかけあうことで、地域全体の見守りにつながる。
  - **「こんにちは」の声、まちを育てていく**



## 会員の声

### 《地域全体で高齢者や子どもを見守る》

- ・町会内で一人住まいの高齢者の方を週二回は役員全員（交替制）で声掛けをしています。大変喜ばれています。
- ・子どもの顔を覚えてもらえ、どこそで子どもを見かけたよ、と教えてもらえる。
- ・廃品回収の戸別訪問で会員さんの健康状態などがわかり地域全体での見守りにつながる。
- ・町内のある方から「〇〇のおばあちゃんが勝手に植木の花を摘んでしまう」という苦情が届きました。丹精込めて育てた植木をあらされて、さぞご立腹だろうと思い詳しく事情を聞こうと訪ねにいったところ、お怒りの言葉など一切なく、痴呆ではないかと、隣人を思いやる表情がそこにはありました。こうした人々の温かい思いやりが地域を支え社会を支えていくのだと実感しました。

### 《町会活動が地域を守る》

- ・町会の行事の受付をやらせていただいたり、交通安全週間では横断歩道での旗振りをして、地域の皆様や子供たちと顔見知りとなり、ふだんから挨拶を交わしたり、会話を  
する場面が増えて、とても楽しく過ごしております。
- ・町会活動を通して、子供たちを見守り、地域の中で育てていくという地域の「教育力」  
向上につなげていくことができる。

# やりがい

## 町会の活動を作り上げた達成感

- ・ 役員になって、負担は大きいけれど、自分が役立つことで誇りを持てる。
- ・ 苦勞も多いけれど、町会の行事を喜んでいただけるという実感がある。
  - 地域で、自分の経験や知識を活かす
  - 町会に貢献しているという満足感

## 継続されていく地域のつながり

- ・ 大人になってから参加した若者から、「昔のままの夏祭りで子どもの頃を思い出す」と喜ばれる。
- ・ 市外に出た子どもたちの世代が、夏祭りや盆踊りには孫を連れて集まり、参加している。
- ・ 役員をやって、友人が増え、リタイア後の生活に期待が持てた。
  - 子どもの頃の思い出は、町会・自治会から



## 会員の声

### 《町会を作り上げた達成感》

- ・加入しているだけでは、日常的にメリットを感じることはなかったが、役員になってみて負担は大きいけれども自分が役立つことで誇りをもてるようになった。
- ・組長を引き受けて忙しくなりました。今までは、面倒くさいと感じていましたが、今は楽しくなりました。いい勉強になりました。
- ・（新加入者から）防犯・防災パトロールに参加して、町会に少しでも貢献しているのだと自己満足している。
- ・町会行事が終わって、役員同士で慰労会で酒を飲みながらのいろんな話が出て、「無事に終わって良かったな」などの達成感が気持ちいい。
- ・声掛けで有事の時の発見が早くなることと思いますので、役員も頑張りがいがあります。

### 《継続されていく地域のつながり》

- ・夏祭りに来ていた若者二人が楽しそうに話してくれた。久し振りに祭りに来て、昔のままの祭りで変わってなくて大変懐かしい、子どもを思い出して嬉しくなると。これを聞いた役員は、苦労も多いけど喜んでくれる人がいる、「子どものふるさとへ」というスローガンが生きていると感を深くした。やはり継続は必要なことだなあ、と改めて思ったことでした。
- ・夏祭りや盆踊りに親子で孫たちが集まってきて、にぎやかになり、皆さん喜んでいる。
- ・サラリーマン生活で地域との関わりがなかったが、役員を引き受けたことで友人が増え、リタイア後の生活にも期待が持てた。

## その他

### 市や地域の情報が簡単に手に入る

- ・定期的に回ってくる回覧板によって、市の広報よりも細かな情報が得られる。
- ・町会行事の際に、多くの方と話をする機会があり、地域や隣近所の情報が得られる。
- ・町会活動に参加することで、地域が抱えている問題や周辺の最新情報を知ることができる。

→ **地域のことを知り、行動を広げることができる**

### 地域の困りごとの相談窓口として…

- ・訪問販売の人がなかなか帰らず困っているとき、「町会長に相談してみる」というと帰って行った。
- ・身の回りの苦情や会員の思いを地域全体の声としてまとめ、関係機関へ働きかける。
- ・会員から問題点等を聞いて、地域の活性化に活かす。

→ **より住みよいまちづくりを目指して**

### 地域でエコに取り組む

- ・資源回収に力を入れることで、資源の大切さの意識向上に役立った。
- ・資源回収や花いっぱい運動によって、資源や環境について考える機会が作られた。
- ・花いっぱい運動では、多数の人が参加し、花を通してコミュニケーションの場となった。

→ **エコ活動で交流の輪が広がり、地域の環境が守られる**

### 地域社会を支える活動

- ・町会会員から提供された傘を、突然の雨に誰でも使える「思いやり傘」として、市内公共施設に設置している。
- ・各種募金活動を通じて、地域で社会に貢献している。
- ・町会広報掲示板へのポスター掲示によって、広く情報を提供している。

## 会員の声

### 《市や地域の情報が簡単に手に入る》

- ・町会に参加することで、地域が抱えている問題や様子がわかるようになりました。
- ・春と秋の交通安全週間中、中福生会館前に詰所が設置され、福寿会から「町会内の高齢者の情報」が得られる。
- ・町会加入により回覧板が回り、市の広報より細かな情報が得られる。
- ・順番で組長が回ってくるが、募金の集金等を通して近所の情報が得られる。
- ・情報の広がり（多くの人と接することにより、知り得なかった知識の入手）
- ・市や地元の情報が簡単に手に入る。

### 《地域の困りごとの相談窓口として…》

- ・町会員の考え、思い、要望を傾聴し、町会役員として意見をまとめ関係機関へ要望し、より良いまちづくりを目指しています。
- ・訪問販売の人がなかなか帰ろうとしないで困っていた時、「町会長さんに聞いてみる」と言うと、そそくさと帰っていったそうです。無断で町会長さんを使って申し訳ないということでした。私からは、それで役に立つならばいくらでも使ってください、と返事をしておきましたが、その後いろいろな会合、機会に会員に話すようにしています。
- ・会員に問題点等を聞くことにより、スムーズな町会運営ができる。
- ・ゴルフ、カラオケ、釣りの会、山歩き会など趣味を同じくする会員を通して、町会活動の活性化にリンクさせて、多方面から町会に対するニーズを把握し、年間事業に反映させている。

### 《地域でエコに取り組む》

- ・年間の資源回収の回数を増やしたことにより、町会員が古新聞等を長く保管しておかなくて済み、町会員から喜ばれた。
- ・資源回収に力を入れることにより、資源と環境を考えるとともに、その意識を大いに高める機会を作ることができる。
- ・花の植栽時に多数の人が参加され、花を通してコミュニケーションの場となり、チームワーク向上につながった。



## おわりに

地域の結びつきを支える町会・自治会活動をより充実したものにしていくためには、地域の皆さんの参加が必要となります。そのためには、多くの地域の方に町会・自治会へ加入していただき、「いざ」というときに、協力しあえる環境づくりが必要です。

この加入の手引は、加入を勧誘する際に、未加入者の方に町会・自治会活動を説明していく上で、キーワードとなる事例を取り上げ、勧誘の参考となればと作成しました。

地域住民同士が交流を深め、より幅の広い関係を築き、町会・自治会活動を豊かなものにしていただきたいと思います。

### 町会・自治会活性化部会

ブロック	町会名	町会長名	役職
1	内出町会	高水 章夫	
2	福栄町会	沼崎 敬三	部会長
3	牛浜第二町会	佐藤 喜久雄	副部会長
4	武蔵野台一丁目町会	尾川 治雄	
5	加美第一町会	町田 俊文	